

姫路獨協大学の平成 19 年度決算と 20 年度予算について

平成 19 年度決算について

1. 消費収支 (表 6 図表 3)

平成 19 年度の帰属収入は、予算に比べ 1 億 35 百万円増の 43 億 11 百万円となりました。これは、退職者が計画より多かったことによる私立大学退職金財団からの交付金の増が主な要因となっています。基本金の組み入れは、講義棟教室・トイレ改修、グラウンド・野球場改修、医療保健・薬学部開設に伴う設備整備等により 10 億 85 百万円となりました。これにより、帰属収入からこの基本金組入額を控除した消費収入は、予算に比べ 2 億 84 百万円増の 32 億 27 百万円となりました。

一方、消費支出は予算に比べ 1 億 5 百万円減の 55 億 16 百万円となりました。

この結果、消費収支差額が 22 億 90 百万円の支出超過で、翌年度への繰越消費支出超過額は 37 億 15 百万円となりました。

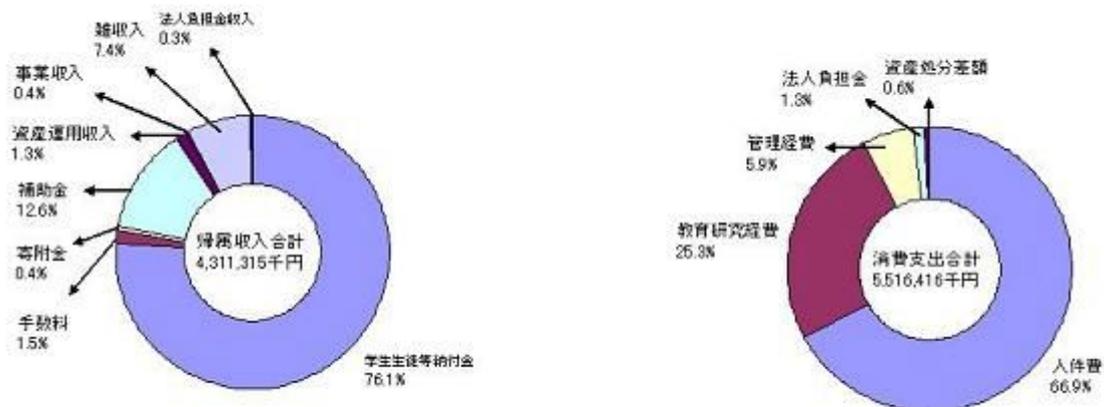
平成 19 年度 消費収支内訳表
(平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで)

(表 6)

(単位:千円 端数未調整)

| 収入の部 | | | | 支出の部 | | | |
|----------|--------------------|--------------------|-------------|--------------|--------------------|--------------------|-------------|
| 科目 | 平成 19 年度 予算額(A) | 平成 19 年度 決算額(B) | 増減 (A-B) | 科目 | 平成 19 年度 予算額(A) | 平成 19 年度 決算額(B) | 増減 (A-B) |
| 学生生徒等納付金 | 3,331,510 | 3,279,494 | 52,016 | 人件費 | 3,632,973 | 3,692,582 | △59,609 |
| 手数料 | 67,925 | 65,506 | 2,419 | 教育研究経費 | 1,541,021 | 1,394,624 | 146,397 |
| 寄附金 | 10,000 | 16,208 | △6,208 | 管理経費 | 342,908 | 323,241 | 19,667 |
| 補助金 | 511,200 | 545,068 | △33,868 | 法人負担金 | 84,771 | 74,773 | 9,998 |
| 資産運用収入 | 38,090 | 56,102 | △18,012 | 資産処分差額 | 0 | 31,196 | △31,196 |
| 資産売却差額 | 0 | 34 | △34 | 予備費 | 20,000 | - | 20,000 |
| 事業収入 | 6,980 | 17,745 | △10,765 | | | | |
| 雑収入 | 196,437 | 318,079 | △121,642 | | | | |
| 法人負担金収入 | 13,700 | 13,079 | 621 | | | | |
| 帰属収入合計 | 4,175,842 | 4,311,315 | △135,473 | 消費支出の部合計 | 5,621,673 | 5,516,416 | 105,257 |
| 基本金組入額合計 | △1,232,573 | △1,084,528 | △148,045 | 当年度消費支出超過額 | △2,678,404 | △2,289,629 | - |
| 消費収入の部合計 | 2,943,269 | 3,226,787 | △283,518 | 前年度繰越消費支出超過額 | △1,597,795 | △1,425,064 | - |
| | | | | 翌年度繰越消費支出超過額 | △4,276,199 | △3,714,693 | - |

平成 19 年度 消費収支 科目別構成(図表 3)



2. 資金収支（表7）

次年度繰越金は31億49百万円となり、予算対比では2億72百万円の増加、前年度末の繰越金からは4億23百万円の減少となりました。

この結果、金融資産残高は53億13百万円で前年度対比15億77百万円減少しました。

平成19年度 資金収支内訳表

（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

（表7）

（単位：千円 端数未調整）

| 収入の部 | | | | 支出の部 | | | |
|------------|------------------|------------------|-------------|-----------|------------------|------------------|-------------|
| 科目 | 平成19年度 予算額(A) | 平成19年度 決算額(B) | 増減 (A-B) | 科目 | 平成19年度 予算額(A) | 平成19年度 決算額(B) | 増減 (A-B) |
| 学生生徒等納付金収入 | 3,331,510 | 3,279,494 | 52,016 | 人件費支出 | 3,639,992 | 3,696,775 | △56,783 |
| 手数料収入 | 67,925 | 65,506 | 2,419 | 教育研究経費支出 | 961,334 | 867,256 | 94,078 |
| 寄附金収入 | 10,000 | 2,310 | 7,690 | 管理経費支出 | 313,828 | 294,269 | 19,559 |
| 補助金収入 | 511,200 | 545,068 | △33,868 | 法人負担金等支出 | 84,771 | 81,544 | 3,227 |
| 資産運用収入 | 38,090 | 56,102 | △18,012 | 施設関係支出 | 136,156 | 82,868 | 53,288 |
| 資産売却収入 | 0 | 200,239 | △200,239 | 設備関係支出 | 539,217 | 564,905 | △25,688 |
| 事業収入 | 6,980 | 17,745 | △10,765 | 資産運用支出 | 2,214,285 | 2,244,901 | △30,616 |
| 雑収入 | 196,437 | 318,079 | △121,642 | その他の支出 | 756,388 | 755,275 | 1,113 |
| 法人負担金収入 | 13,700 | 13,079 | 621 | 予備費 | 20,000 | - | 20,000 |
| 前受金収入 | 776,000 | 734,970 | 41,030 | | | | |
| その他の収入 | 3,445,989 | 3,228,685 | 217,304 | | | | |
| 資金収入調整勘定 | △969,437 | △1,151,818 | 182,381 | | | | |
| 前年度繰越支払資金 | 3,424,681 | 3,571,835 | △147,154 | | | | |
| 収入の部合計 | 10,853,075 | 10,881,294 | △28,219 | | | | |
| | | | | 資金支出調整勘定 | △689,477 | △855,366 | 165,889 |
| | | | | 次年度繰越支払資金 | 2,876,581 | 3,148,867 | △272,286 |
| | | | | 支出の部合計 | 10,853,075 | 10,881,294 | △28,219 |

平成20年度の事業計画と予算について

1. 主要な方針・施策

平成20年度予算編成では、① 外国語学部・経済情報学部の改組、② 学生支援の充実、③ 学生募集の強化、④ 広報活動の効率化、⑤ 駅前サテライト教室の充実、⑥ 認証評価に向けての準備等を主な事業として予算計上しました。また、平成19年度に引き続き、創立20周年記念事業として寄付金を募り、教育設備やキャンパス・アメニティの整備・充実計画を進めるとともに、地域の活性化や生涯学習の拠点として、地域貢献に重点を置いた大学として発展することを目指します。さらに財政面においては、継続的に経費の見直し・削減を実施し、収入と支出のバランスがとれた収支構造となるよう努力します。

2. 主要な事業概要

1) 外国語学部関連

・現在の外国語学部6学科を社会のニーズに合わせ、平成20年4月から1学科(外国語学科)2専攻(外国語専攻、日本語専攻)からなる新学部として改組し、「英語・もう一つの外国語・日本語」を教育の三本柱とします。

・新体制の外国語学部は、「グローバル化」に対応する英語能力養成を基礎としたマルチ・リンガルを目指し、留学生との「多文化共生」の実践的教育や、日本語教員を養成します。また、1年次から海外における異文化体験研修を実施し、コミュニケーション能力の高い、社会から求められる人材を育成します。

・学生支援の充実によって、教員と学生相互の一体感を強め、外国語学部の新しい伝統を培って行きます。

2) 法学部関連

・1年次から4年次まで、一貫して少人数制の授業を受けられる体制を整え、法学について専門的に学ぶなかで、社会人として活躍できる法的思考力を養成します。

・「法学検定試験」や「数学検定試験」を通した達成感のある基礎教育を充実します。

・警察官志望者に対する指導を充実させ、高い採用試験合格率を維持します。

・「全員就職を決めて卒業させる」という目的のもと、1年次から4年次までゼミに所属させ、各教員が学生を個別にケアし、学習・就職活動を支援する体制を充実します。

3) 経済情報学部関連

・経済情報学部としての教育目的を明確にするため、平成20年4月から現在の2学科を1学科(経済情報学科)に改組

し、経済学と経営学の両分野に関する幅広い知識を身につけ、コンピュータの実践力を備えた人材を育成します。

・少人数制ゼミ、演習科目・専門基礎教育科目のTA制度導入、コンピュータ相談窓口の設置等により、学生の教学サポート体制の充実を図ります。

・「会計工房」を設置し、パソコン、簿記、経済学検定等の対策講座を少人数制で実施することにより、就職支援体制を充実します。また、基礎学力向上を図るため、数学検定対策講座を法学部と連携して開講します。本学は、2年連続で大学・短期大学部門において「数学検定グランプリ金賞」を受賞しています。

4) 医療保健学部関連

・各学科の特徴を活かした教育・実習の充実と、学年進行に伴う、年次計画に沿った施設・設備等の充実を行います。

・学年進行3年目をむかえ、各学科とも、演習や実習等専門分野のカリキュラムが充実します。特に臨床評価実習等の実施により、臨床経験を積み重ねながら、専門的な知識の充実と実践的なスキルの向上を養います。

・福祉や保健など、幅広い分野での知識を兼ね備え、他の医療従事者と協力して、病めるヒトのニーズに的確に対応できる能力を養成します。

5) 薬学部関連

・学部の特徴を活かした教育・実習の充実と、学年進行に伴う、年次計画に沿った施設・設備及び薬草園の整備・充実を行います。

・学年進行2年目をむかえ、薬学に不可欠な「物理系」、「化学系」、「生物系」、「衛生系」の4系統の専門科目を学び、3年次以降の教育のベースとなる知識や技術を修得します。この際、通常の講義・実習のみならず、4年次に行く予定のCBT、OSCEの準備を始めます。具体的には、CBTの準備のためのeラーニングを導入し、OSCEについては、ミニトライアルを実施します。また、PBL形式の「物理・化学系統合演習」を実施し、科学的思考力を高めるとともに、少人数グループに分かれて学生一人ひとりがテーマについて問題抽出・調査・発表準備・発表に取り組み、問題解決能力やコミュニケーション能力を養成します。

6) 各大学院研究科関連

・姫路駅前に「駅前サテライト教室」を設置したことから、主として昼夜開講制の夜間に開講する授業を実施することにより、社会人学生等が学修しやすい環境の整備・充実を図ります。

7) 法務研究科関連

・平成20年に日弁連法務研究財団による認証評価を受けます。また、学年進行が終了したことから、今までの教育・研究を基に更なる発展に努めます。

3. 主要な施設・設備計画の概要

- 1) 開学以来の経年劣化により、講義棟受配電設備、防災監視装置の更新を行います。
- 2) 学年進行に伴う教育・実習及び研究活動の充実のため、医療保健学部、薬学部に係る設備(機械器具等)及び薬草園について、年次計画により整備します。
- 3) 競技者の安全を確保するため、摩耗著しいテニスコート人工芝を更新します。
- 4) 就職・教務システムの一部学外接続化及び入試システムの更新により、学生の利便性の向上や業務の充実と省力化を計ります。また、システムの連携により、入学から卒業までのデータの一元管理を目指します。

(単位:百万円)

| 事業名 | 事業内容 | 20年度予算 |
|------------------------|---|--------|
| 教学関係 | | |
| 1) 外国語学部の改組 | 1)平成 20 年 4 月に外国語学部 6 学科を 1 学科 2 専攻に改組し、グローバル化に対応するための英語能力養成を中核とし、多文化共生の実践的教育を行い、社会から求められる人材を育成します。 | |
| 2) 経済情報学部の改組 | 2) 平成 20 年 4 月に経済情報学部 2 学科を 1 学科に改組し、経済学と経営学の両分野に関する幅広い知識を身につけた人材を養成します。 | |
| 2 地域関係 | | |
| 1) 駅前サテライト教室 | 1) 市民対象の講座を開催するほか、主として夜間に開講する大学院の授業、就職活動の起拠点としても活用します。 | 14 |
| 3 管理運営関係 | | |
| 1) 寄付金募集 | 1) 企業、学校関係者を対象に募集し、教育設備の充実、地域貢献を柱とした事業を行います。 | |
| 2) 自己点検・評価の実施及び認証評価の申請 | 2) 平成 21 年度の認証評価に向けて、自己点検・評価報告書を作成し、準備を進めます。また、法務研究科は日弁連法務研究財団による認証評価を受けます。 | 6 |
| 4 施設関係 | | |
| 1) 講義棟他附帯設備更新 | 1) 講義棟受配電設備、防災監視装置の更新をします。 | 49 |
| 2) 薬学部薬草園整備 | 2) 薬草園について、薬草の植栽等の整備をします。 | 8 |
| 3) テニスコート改修 | 3) 摩耗著しいテニスコート人工芝の更新をします。 | 16 |
| 5 設備関係 | | |
| 1) 薬学部機器の整備 | 1) 教育・実習・研究活動の充実のために、年次計画により機械器具を整備します。 | 329 |
| 2) 教務システムの学外接続 | 2) 就職・教務システムの学外接続を行うために、中継サーバーを用いてセキュリティを向上させます。 | 1 |
| 3) 入試システムの更新 | 3) システムを更新し、教務・就職システムと連携を図ります。 | |
| 4) 講義棟用備品 | 4) 経年劣化による取替更新をします。 | 6 |
| 5) 厨房用機器 | 5) 経年劣化による取替更新をします。 | 5 |
| 6) 図書 | 6) 図書館用図書等 | 1 |
| 7) その他 | 7) 各予算単位要望備品等 | 18 |
| | | 1 |

4. 消費収支(表8 図表4)

帰属収入については39億72百万円で、前年度予算比で2億4百万円の減少になります。これは在籍学生数の減少に伴う経常費補助金一般補助の減収、私立大学退職金財団からの交付金を通常の退職予定者数で計上したことによる減額が主な要因です。基本金の組み入れは、薬学部の整備に係る組み入れが主で4億39百万円となり、前年度に比べ7億93百万円減となります。帰属収入からこの基本金組入額を控除した消費収入は、前年度と比べ5億90百万円増の35億33百万円となります。

一方、消費支出は教育研究費の増加を見込んでおりますが、人件費の抑制、管理経費の削減等を進めることにより前年度と比べ6億23百万円減となります。この結果、消費収支差額は14億65百万円の支出超過となる見込みです。

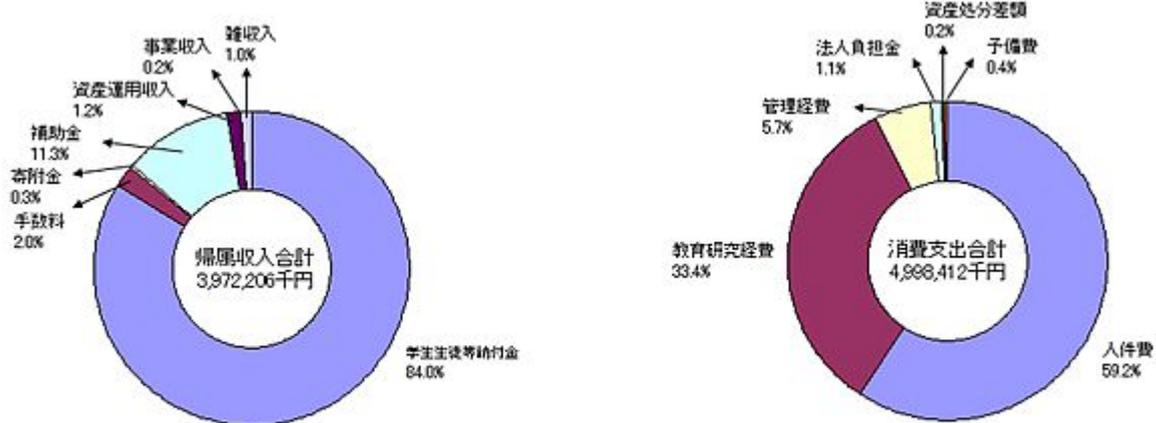
平成20年度 消費収支予算内訳表
(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(表8)

(単位:千円)

| 収入の部 | | | | 支出の部 | | | |
|----------|------------------|------------------|-------------|-----------|------------------|------------------|-------------|
| 科目 | 平成20年度 予算額(A) | 平成19年度 予算額(B) | 増減 (A-B) | 科目 | 平成20年度 予算額(A) | 平成19年度 予算額(B) | 増減 (A-B) |
| 学生生徒等納付金 | 3,336,740 | 3,331,510 | 5,230 | 人件費 | 2,957,214 | 3,632,973 | △675,759 |
| 手数料 | 80,724 | 67,925 | 12,799 | 教育研究経費 | 1,671,381 | 1,541,021 | 130,360 |
| 寄附金 | 10,000 | 10,000 | 0 | 管理経費 | 282,596 | 342,908 | △60,312 |
| 補助金 | 448,997 | 511,200 | △62,203 | 法人負担金 | 55,000 | 84,771 | △29,771 |
| 資産運用収入 | 47,985 | 38,090 | 9,895 | 資産処分差額 | 12,221 | 0 | 12,221 |
| 資産売却差額 | 0 | 0 | 0 | 予備費 | 20,000 | 20,000 | 0 |
| 事業収入 | 8,130 | 6,980 | 1,150 | | | | |
| 雑収入 | 39,630 | 196,437 | △156,807 | | | | |
| 法人負担金収入 | 0 | 13,700 | △13,700 | | | | |
| 帰属収入合計 | 3,972,206 | 4,175,842 | △203,636 | 消費支出の部合計 | 4,998,412 | 5,621,673 | △623,261 |
| 基本金組入額合計 | △439,085 | △1,232,573 | 793,488 | 当年度消費収支差額 | △1,465,291 | △2,678,404 | 1,213,113 |
| 消費収入の部合計 | 3,533,121 | 2,943,269 | 589,852 | | | | |

平成20年度 消費収支予算 科目別構成(図表4)



5. 資金収支(表9)

薬学部の施設設備投資が3億4百万円となります。金融資産残高は39億39百万円で前年度より11億52百万円減少する見込みです。

平成20年度 資金収支予算内訳表
(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(表9)

(単位:千円)

| 収入の部 | | | | 支出の部 | | | |
|------------|------------------|------------------|-------------|-----------|------------------|------------------|-------------|
| 科目 | 平成20年度 予算額(A) | 平成19年度 予算額(B) | 増減 (A-B) | 科目 | 平成20年度 予算額(A) | 平成19年度 予算額(B) | 増減 (A-B) |
| 学生生徒等納付金収入 | 3,336,740 | 3,331,510 | 5,230 | 人件費支出 | 2,965,066 | 3,639,992 | △674,926 |
| 手数料収入 | | | | 教育研究経費支出 | 1,052,029 | 961,334 | 90,695 |
| 寄附金収入 | 80,724 | 67,925 | 12,799 | 管理経費支出 | 253,270 | 313,828 | △60,558 |
| 補助金収入 | 10,000 | 10,000 | 0 | 法人負担金等支出 | 55,000 | 84,771 | △29,771 |
| 資産運用収入 | 448,997 | 511,200 | △62,203 | 施設関係支出 | 72,756 | 136,156 | △63,400 |
| 資産売却収入 | 47,985 | 38,090 | 9,895 | 設備関係支出 | 361,265 | 539,217 | △177,952 |
| 事業収入 | 0 | 0 | 0 | 資産運用支出 | 1,834,162 | 2,214,285 | △380,123 |
| 雑収入 | 8,130 | 6,980 | 1,150 | その他の支出 | 960,670 | 756,388 | 204,282 |
| 法人負担金収入 | 39,630 | 196,437 | △156,807 | 予備費 | 20,000 | 20,000 | 0 |
| 前受金収入 | 0 | 13,700 | △13,700 | 資金支出調整勘定 | △127,098 | △689,477 | 562,379 |
| その他の収入 | 721,850 | 776,000 | △54,150 | | | | |
| 資金収入調整勘定 | 2,561,980 | 3,445,989 | △884,009 | | | | |
| | △758,480 | △969,437 | 210,957 | | | | |
| 前年度繰越支払資金 | 2,953,337 | 3,424,681 | △471,344 | 次年度繰越支払資金 | 2,003,773 | 2,876,581 | △872,808 |
| 収入の部合計 | 9,450,893 | 10,853,075 | △1,402,182 | 支出の部合計 | 9,450,893 | 10,853,075 | △1,402,182 |